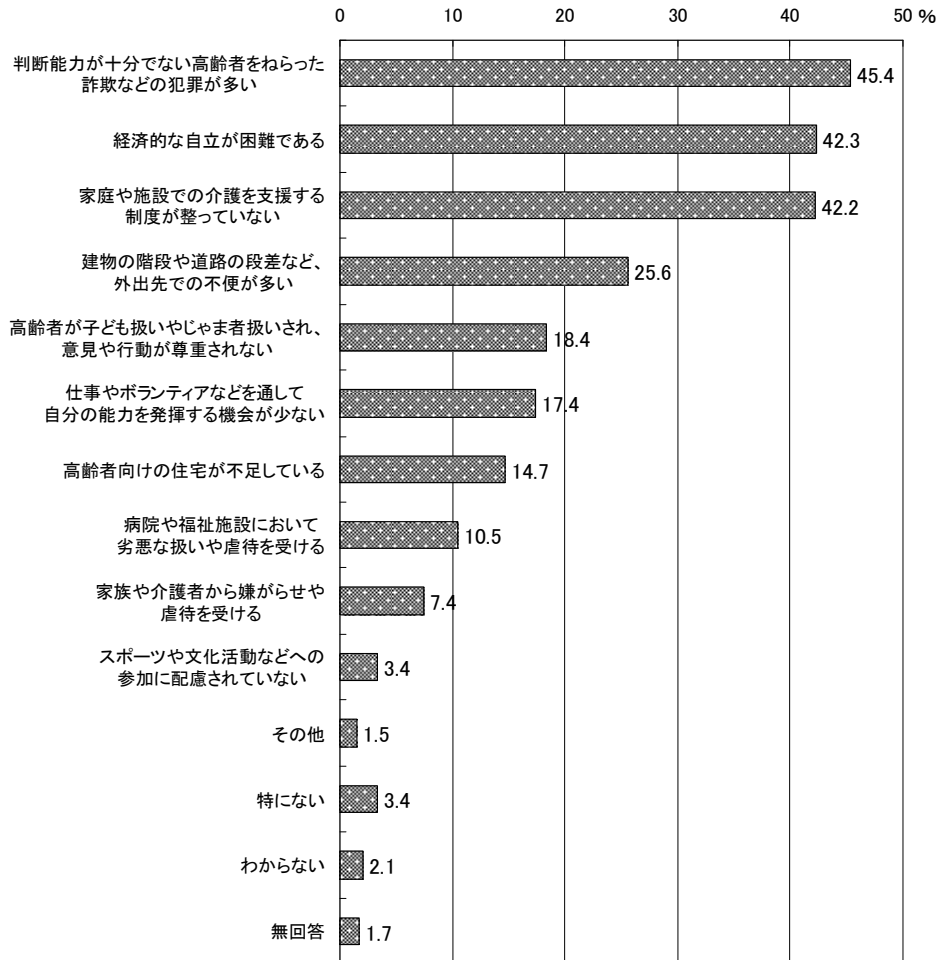


4. 高齢者の人権について

問 10. 高齢者に関する人権上の問題で特に問題があると思われること

高齢者に関する人権上の問題で特に問題があると思われることについては、「判断能力が十分でない高齢者をねらった詐欺などの犯罪が多い」が 45.4%で最も多く、次いで「経済的な自立が困難である」が 42.3%、「家庭や施設での介護を支援する制度が整っていない」が 42.2%などとなっている。

図 10-1 高齢者に関する人権上の問題で特に問題があると思われること(N=918 複数回答3)



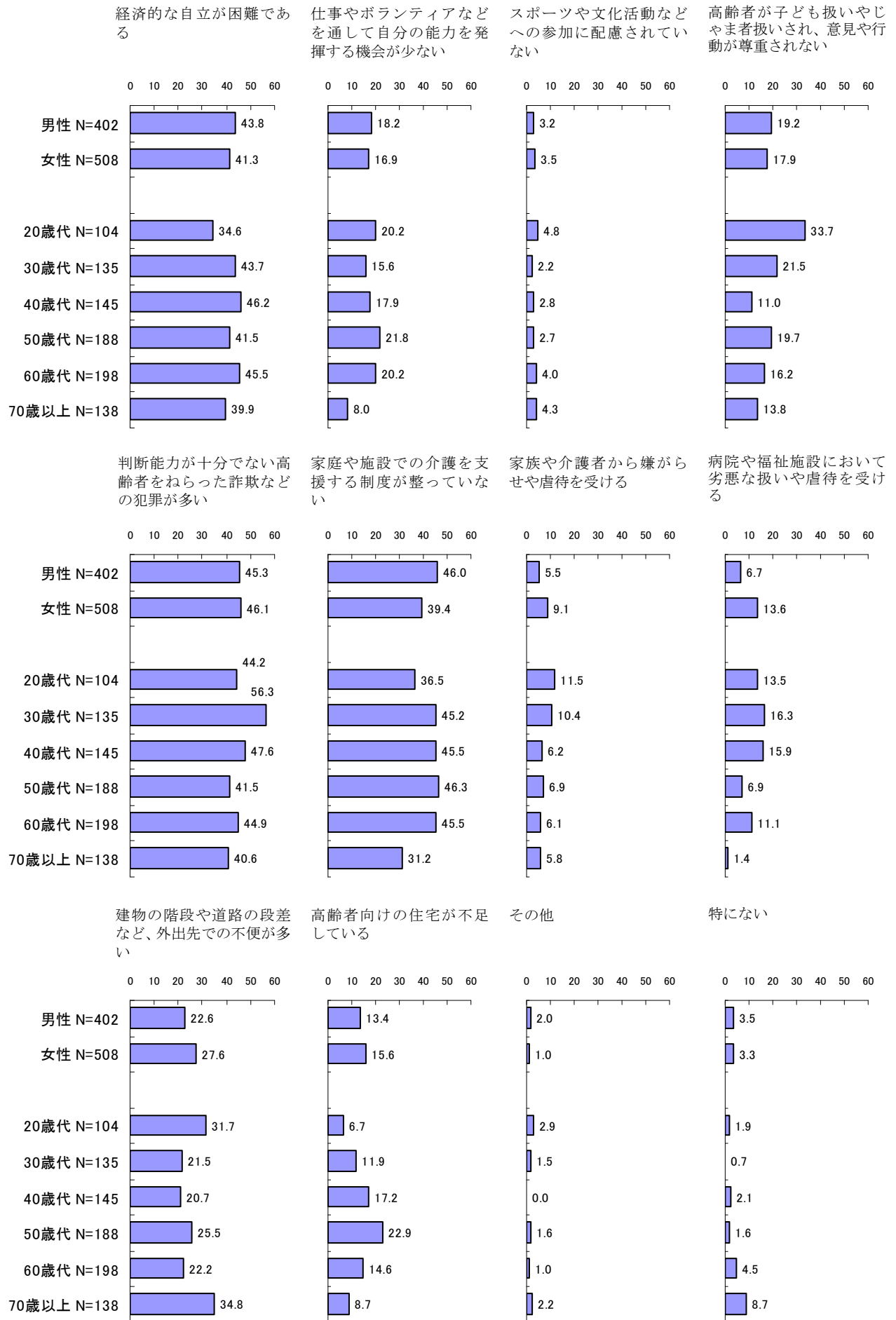
【性別】

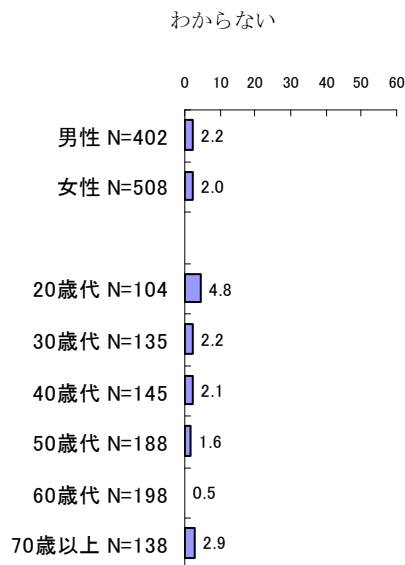
性別にみると、大差はないが「家庭や施設での介護を支援する制度が整っていない」が男性で最も多く、女性よりも 7 ポイント高い。女性では「判断能力が十分でない高齢者をねらった詐欺などの犯罪が多い」が最も多くなっている。

【年代別】

年代別にみると、「判断能力が十分でない高齢者をねらった詐欺などの犯罪が多い」の割合は、30 歳代で 56.3%で他と比べて高い。「家庭や施設での介護を支援する制度が整っていない」の割合は、30 歳代～60 歳代の層で 45%を超え他と比べて高い。20 歳代では「高齢者が子ども扱いやじゃま者扱いされ、意見や行動が尊重されない」の割合が 33.7%であり、他と比べて高い。

図 10-2 高齢者に関する人権上の問題で特に問題があると思われること 単位：%





【職業別】

職業別にみると、「判断能力が十分でない高齢者をねらった詐欺などの犯罪が多い」の割合は、公務員、会社員・団体職員、主婦・家事手伝い、無職では 45%を超え、他と比べて高い。「経済的な自立が困難である」の割合は、パート・アルバイト、無職、自営業で 45%を超え、他と比べて高い。「家庭や施設での介護を支援する制度が整っていない」の割合は、公務員、会社員・団体職員、パート・アルバイトでは 45%を超え、他の層と比べて高い。

図 10-3 高齢者に関する人権上の問題で特に問題があると思われること 単位：%

	N	経済的な自立が困難である	仕事やボランティアなどを通して自分の能力を発揮する機会が少ない	スポーツや文化活動などへの参加に配慮されていない	高齢者が子ども扱いやばいさされ、意見や行動が尊重されない	判断能力が十分でない高齢者をねらった詐欺などの犯罪が多い	家庭や施設での介護を支援する制度が整っていない	家族や介護者から嫌がらせや虐待を受ける	病院や福祉施設において劣悪な扱いや虐待を受ける	建物の階段や道路の段差など、外出先での不便が多い	高齢者向けの住宅が不足している	その他	特にな	わからない	無回答
総数	918	42.3	17.4	3.4	18.4	45.4	42.2	7.4	10.5	25.6	14.7	1.5	3.4	2.1	1.7
農林水産業	37	43.2	18.9	-	37.8	37.8	37.8	10.8	5.4	37.8	5.4	2.7	2.7	2.7	5.4
自営業	89	46.1	16.9	3.4	16.9	31.5	37.1	10.1	11.2	23.6	13.5	-	3.4	2.2	1.1
公務員	49	36.7	24.5	2.0	18.4	46.9	49.0	2.0	4.1	24.5	16.3	-	4.1	-	4.1
会社員・団体職員	241	43.6	20.7	2.9	20.3	52.3	47.7	7.1	9.1	21.6	14.9	2.5	2.1	2.1	1.2
学生	23	26.1	26.1	13.0	26.1	43.5	43.5	4.3	13.0	26.1	8.7	4.3	-	4.3	-
パート・アルバイト	75	50.7	16.0	4.0	20.0	44.0	50.7	9.3	18.7	24.0	14.7	1.3	-	1.3	-
主婦・家事手伝い	151	39.1	14.6	4.0	16.6	46.4	37.1	11.9	16.6	30.5	17.2	1.3	1.3	2.0	0.7
無職	139	47.5	14.4	3.6	12.2	47.5	42.4	4.3	5.8	28.1	15.1	0.7	5.0	2.2	1.4
その他	70	38.6	17.1	4.3	17.1	42.9	40.0	5.7	11.4	22.9	12.9	1.4	7.1	2.9	1.4

【家族構成別】

家族構成別にみると、「判断能力が十分でない高齢者をねらった詐欺などの犯罪が多い」の割合は、単身、夫婦と子、3世代の世帯で、「家庭や施設での介護を支援する制度が整っていない」の割合は、夫婦のみ、一人親と子の世帯で、「経済的な自立が困難である」の割合は、夫婦のみの世帯、一人親と子の世帯で、45%を超え、他の層と比べ高い。

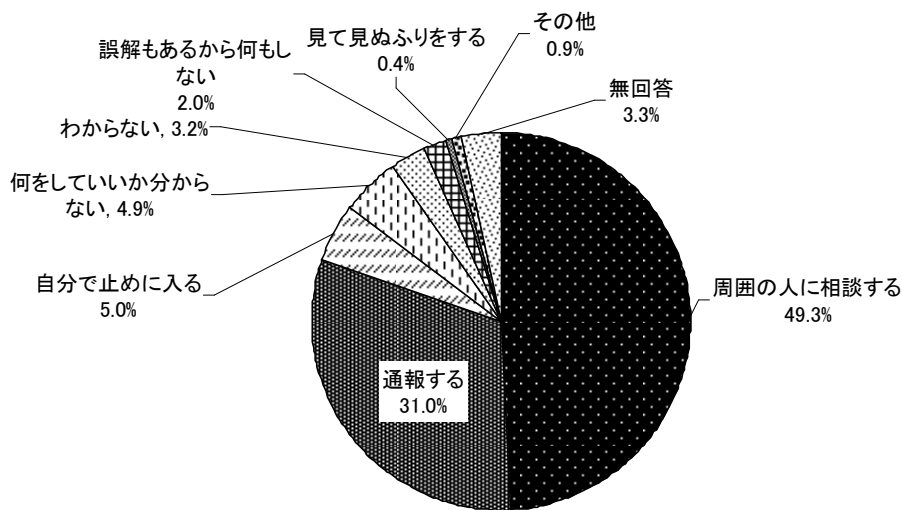
図 10-4 高齢者に関する人権上の問題で特に問題があると思われること 単位：%

	N	経済的な自立が困難である	仕事やボランティアなどを通して自分の能力を発揮する機会が少ない	スポーツや文化活動などへの参加に配慮されていない	高齢者が子ども扱いされ、意見や行動が尊重されない	判断能力が十分でない高齢者をねらった詐欺などの犯罪が多い	家庭や施設での介護を支援する制度が整っていない	家族や介護者からせいや虐待を受ける	病院や福祉施設において劣悪な扱いや虐待を受ける	建物の階段や道路の段差など、外出先での不便が多い	高齢者向けの住宅が不足している	その他	特になし	わからない	無回答
総数	918	42.3	17.4	3.4	18.4	45.4	42.2	7.4	10.5	25.6	14.7	1.5	3.4	2.1	1.7
単身	73	39.7	15.1	1.4	15.1	46.6	39.7	2.7	12.3	24.7	17.8	-	1.4	6.8	2.7
夫婦のみ	175	45.7	16.0	7.4	17.1	43.4	46.3	6.9	8.6	25.7	12.6	2.3	5.1	0.6	2.3
夫婦と子	371	41.8	17.0	2.4	19.7	46.6	44.2	8.6	14.8	24.3	15.4	1.9	1.6	2.2	0.5
夫婦と親	39	30.8	23.1	-	20.5	33.3	38.5	10.3	5.1	30.8	17.9	2.6	5.1	5.1	5.1
3世代	133	38.3	23.3	3.0	18.0	51.1	33.8	7.5	4.5	31.6	14.3	-	4.5	-	0.8
一人親と子	66	51.5	19.7	3.0	9.1	37.9	48.5	6.1	9.1	21.2	15.2	-	6.1	-	1.5
その他	54	46.3	9.3	3.7	29.6	50.0	35.2	7.4	5.6	20.4	9.3	1.9	5.6	5.6	5.6

問 11. 身近で保護者・同居人から虐待を受けている高齢者を知ったらどうするか

身近で保護者・同居人から虐待を受けている高齢者を知ったらどうするかについては、「周囲の人に相談する」が49.3%で最も多く、次いで「通報する」が31.0%、「自分で止める」が5.0%などとなっている。これら3つを合わせた、対応をしようとする人の割合は85.3%であり、対応しない人の割合は10.5%である。

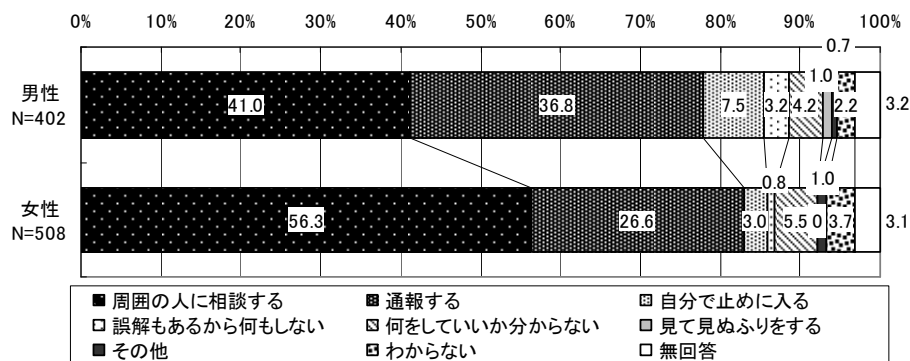
図 11 - 1 身近で保護者・同居人から虐待を受けている
高齢者を知ったらどうするか (N=918)



【性別】

性別にみると、何らかの対応をしようとする人の割合に男女の差はないが、「周囲の人に相談する」の割合は女性の方が15ポイント高く、「通報する」の割合は男性の方が10ポイント高い。

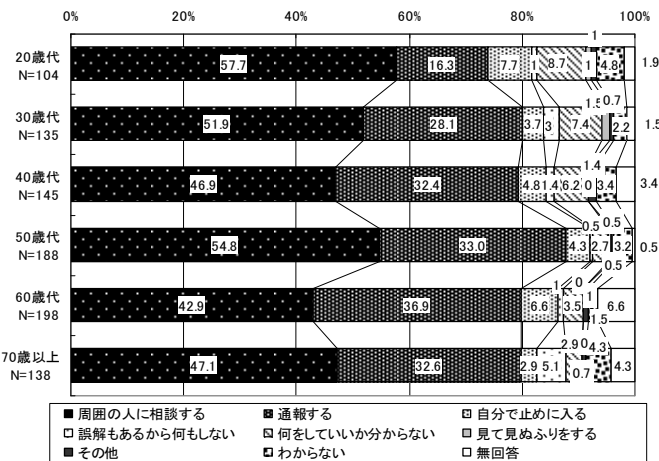
図 11 - 2 身近で保護者・同居人から虐待を受けている
高齢者を知ったらどうするか



【年代別】

年代別にみると、何らかの対応をしようとする人の割合は、50歳代で他と比べて高い。「周囲の人に相談する」と「通報する」を合わせた他者との連携の割合は、50歳代でやや高く、20歳代でやや低くなっているが、いずれも「周囲の人に相談する」の割合は他の世代と比べてやや高い。

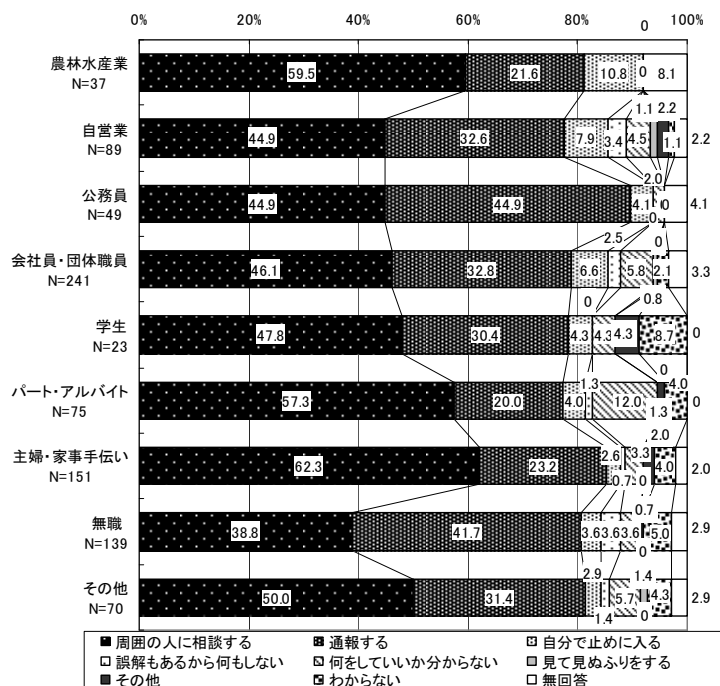
図 11 - 3 身近で保護者・同居人から虐待を受けている高齢者を知ったらどうするか



【職業別】

職業別にみると、何らかの対応をしようとする人の割合は、公務員、農林水産業で他と比べて高い。「周囲の人に相談する」と「通報する」を合わせた他者との連携の割合は、公務員で他と比べてやや高い。無職では「周囲の人に相談する」よりも「通報する」の方が多い。主婦・家事手伝い、農林水産業、パート・アルバイトでは、「周囲の人に相談する」の割合が他と比べてやや高い。

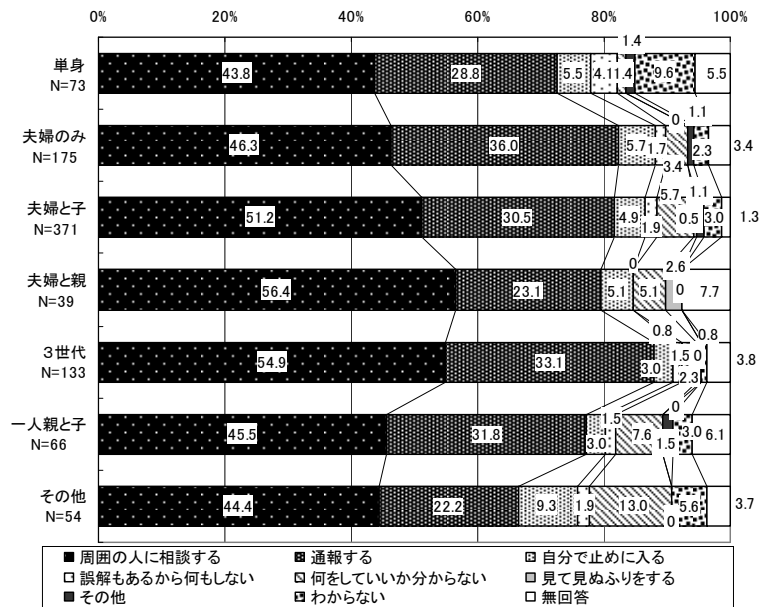
図 11 - 4 身近で保護者・同居人から虐待を受けている高齢者を知ったらどうするか



【家族構成別】

家族構成別にみると、何らかの対応をしようとする人の割合や「周囲の人に相談する」と「通報する」を合わせた他者との連携の割合は、3世代で最も高い。また「周囲の人に相談する」の割合は夫婦と親、3世代、夫婦と子の世帯で他と比べてやや高くなっている。

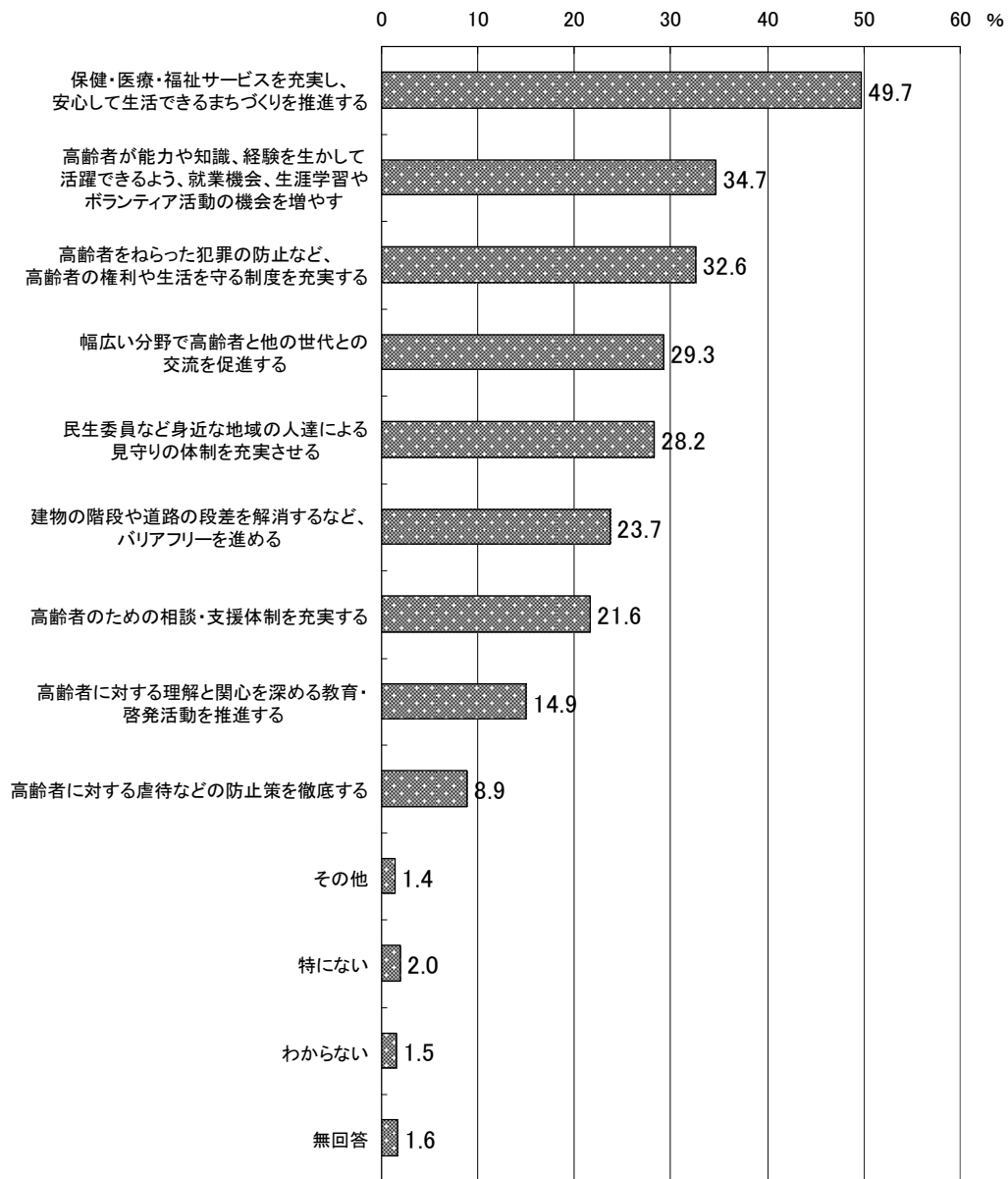
図 11 - 5 身近で保護者・同居人から虐待を受けている高齢者を知ったらどうするか



問 12. 高齢者の人権を守るために必要なこと

高齢者の人権を守るために必要なことは、「保健・医療・福祉サービスを充実し、安心して生活できるまちづくりを推進する」が 49.7%で最も多く、次いで「高齢者が能力や知識、経験を生かして活躍できるよう、就業機会、生涯学習やボランティア活動の機会を増やす」が 34.7%、「高齢者をねらった犯罪の防止など、高齢者の権利や生活を守る制度を充実する」が 32.6%などとなっている。

図 12 - 1 高齢者の人権を守るために必要なこと (N=918)



【性別】

性別にみると、大差はない。

【年代別】

年代別にみると、「保健・医療・福祉サービスを充実し、安心して生活できるまちづくりを推進する」の割合は、30歳代～60歳代まで50%を超え、他と比べて高い。「高齢者が能力や知識、経験を生かして活躍できるよう、就業機会、生涯学習やボランティア活動の機会を増やす」の割合は、50歳代及び20歳代で40%を超え、他と比べて高い。30歳代では「幅広い分野で高齢者和其他の世代との交流を促進する」の割合が37.8%で他と比べて高い。年代が高くなるほど「高齢者のための相談・支援体制を充実する」の割合が高くなる傾向がみられる。

図 12 - 2 高齢者の人権を守るために必要なこと

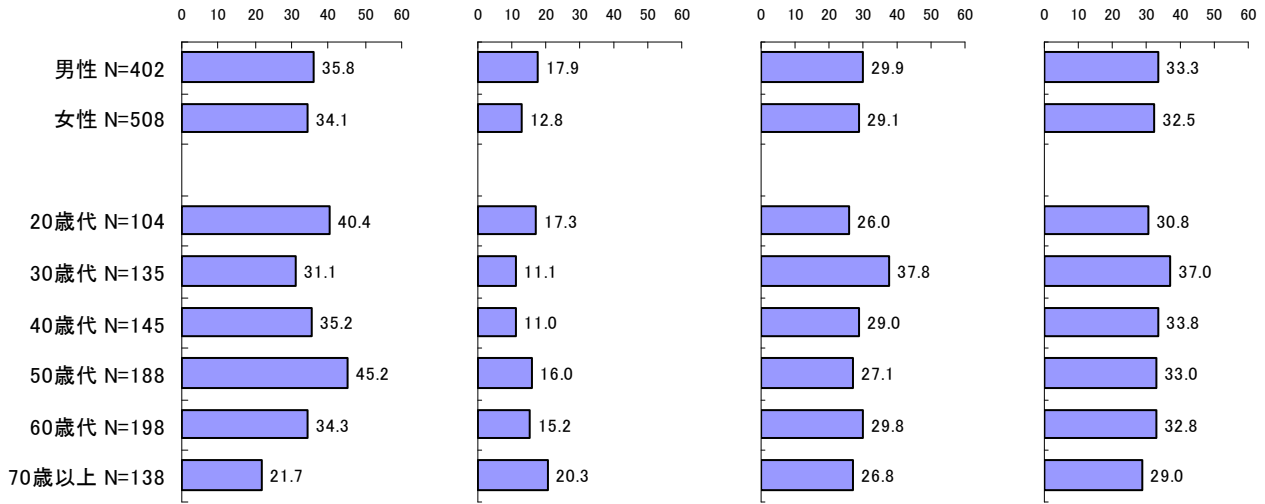
単位：%

高齢者が能力や知識、経験を生かして活躍できるよう、就業機会、生涯学習やボランティア活動の機会を増やす

高齢者に対する理解と関心を深める教育・啓発活動を推進する

幅広い分野で高齢者と他の世代との交流を促進する

高齢者をねらった犯罪の防止など、高齢者の権利や生活を守る制度を充実する

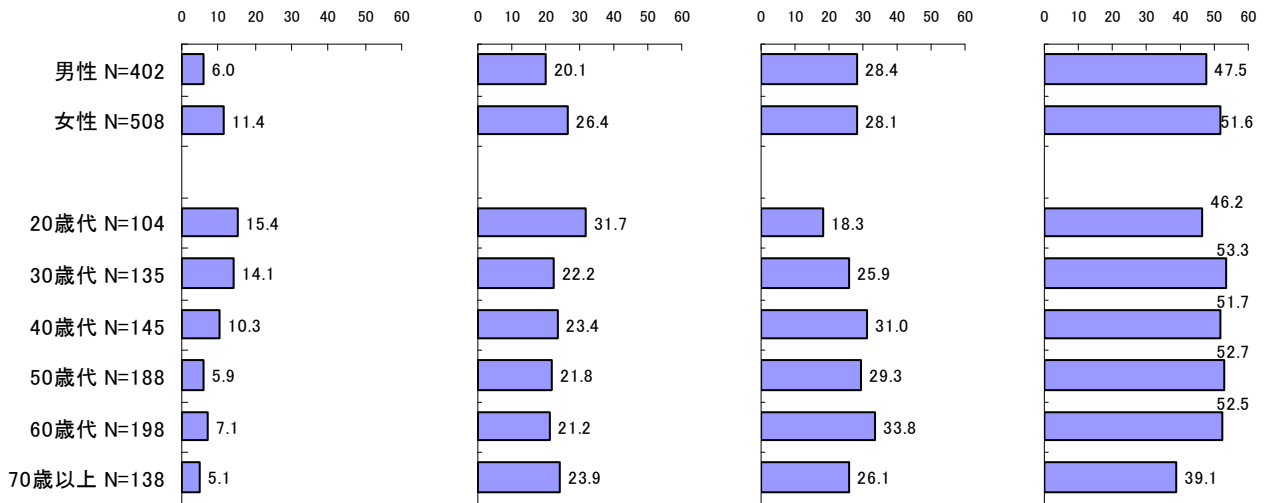


高齢者に対する虐待などの防止策を徹底する

建物の階段や道路の段差を解消するなど、バリアフリーを進める

民生委員など身近な地域の人達による見守りの体制を充実させる

保健・医療・福祉サービスを充実し、安心して生活できるまちづくりを推進する

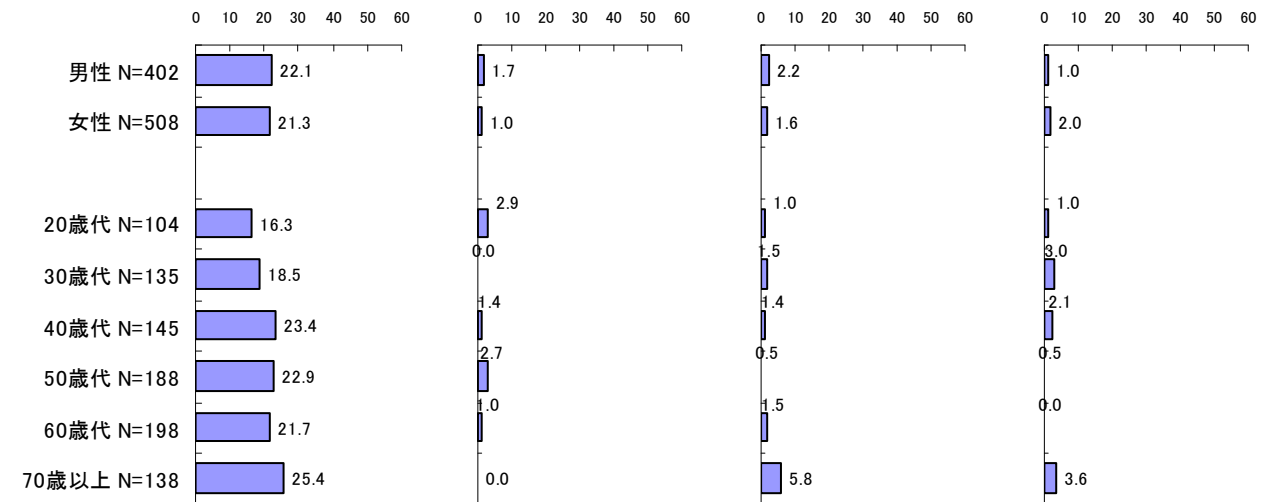


高齢者のための相談・支援体制を充実する

その他

特にない

わからない



【職業別】

職業別にみると、「保健・医療・福祉サービスを充実し、安心して生活できるまちづくりを推進する」の割合は、パート・アルバイト、主婦・家事手伝い、会社員・団体職員など他と比べて高い。「高齢者が能力や知識、経験を生かして活躍できるよう、就業機会、生涯学習やボランティア活動の機会を増やす」の割合は学生、パート・アルバイト、会社員・団体職員で他と比べて高い。「高齢者をねらった犯罪の防止など、高齢者の権利や生活を守る制度を充実する」の割合は無職で他と比べて高い。農林水産業では「高齢者に対する理解と関心を深める教育・啓発活動を推進する」の割合が45.9%で他と比べて高い。

図 12 - 3 高齢者の人権を守るために必要なこと

単位：%

	N	高齢者が能力や知識、経験を生かして活躍できるよう、就業機会、生涯学習やボランティア活動の機会を増やす	高齢者に対する理解と関心を深める教育・啓発活動を推進する	幅広い分野で高齢者との世代との交流を促進する	高齢者をねらった犯罪の防止など、高齢者の権利や生活を守る制度を充実する	高齢者に対する虐待などの防止策を徹底する	建物の階段や道路の段差を解消するなど、バリアフリーを進める	民生委員など身近な地域の人達による見守りの体制を充実させる	保健・医療・福祉サービスを充実し、安心して生活できるまちづくりを推進する	高齢者のための相談・支援体制を充実する	その他	特になし	わからない	無回答
総数	918	34.7	14.9	29.3	32.6	8.9	23.7	28.2	49.7	21.6	1.4	2.0	1.5	1.6
農林水産業	37	35.1	45.9	32.4	27.0	2.7	35.1	37.8	29.7	16.2	-	-	-	2.7
自営業	89	27.0	15.7	30.3	25.8	6.7	24.7	27.0	49.4	33.7	1.1	3.4	1.1	2.2
公務員	49	36.7	12.2	30.6	32.7	12.2	14.3	32.7	51.0	14.3	2.0	2.0	-	4.1
会社員・団体職員	241	41.1	13.7	31.5	34.9	7.5	23.2	24.1	52.7	18.7	1.7	1.7	1.2	1.2
学生	23	52.2	8.7	26.1	26.1	13.0	30.4	17.4	39.1	21.7	8.7	-	-	-
パート・アルバイト	75	44.0	9.3	29.3	32.0	9.3	29.3	38.7	57.3	17.3	-	-	1.3	-
主婦・家事手伝い	151	33.8	15.2	27.8	36.4	12.6	26.5	27.8	53.0	22.5	0.7	-	1.3	1.3
無職	139	26.6	15.1	28.8	39.6	7.2	19.4	26.6	50.4	23.0	0.7	2.2	2.2	0.7
その他	70	30.0	17.1	25.7	24.3	14.3	21.4	34.3	41.4	24.3	1.4	2.9	4.3	-

【家族構成別】

家族構成別にみると、「保健・医療・福祉サービスを充実し、安心して生活できるまちづくりを推進する」の割合は一人親と子で他と比べてやや高い。「高齢者が能力や知識、経験を生かして活躍できるよう、就業機会、生涯学習やボランティア活動の機会を増やす」の割合は夫婦と親で他と比べて高い。「高齢者をねらった犯罪の防止など、高齢者の権利や生活を守る制度を充実する」の割合は一人親と子、3世代、夫婦と子で他と比べて高い。

図 12 - 4 高齢者の人権を守るために必要なこと

単位：％

	N	高齢者が能力や知識、経験を生かして活躍できるように、就業機会、生涯学習やボランティア活動の機会を増やす	高齢者に対する理解と関心を深める教育・啓発活動を推進する	幅広い分野で高齢者世代との交流を促進する	高齢者をねらった犯罪の防止など、高齢者の権利や生活を守る制度を充実する	高齢者に対する虐待などの防止策を徹底する	建物の階段や道路の段差を解消するなど、バリアフリーを進める	民生委員など身近な地域の人達による見守りの体制を充実させる	保健・医療・福祉サービスを充実し、安心して生活できるまちづくりを推進する	高齢者のための相談・支援体制を充実する	その他	特にない	わからない	無回答
総数	918	34.7	14.9	29.3	32.6	8.9	23.7	28.2	49.7	21.6	1.4	2.0	1.5	1.6
単身	73	30.1	9.6	34.2	20.5	8.2	17.8	30.1	52.1	21.9	-	1.4	4.1	2.7
夫婦のみ	175	28.6	13.7	28.6	30.9	8.6	25.1	32.6	50.3	26.9	0.6	2.9	1.1	2.9
夫婦と子	371	36.4	17.5	31.3	34.2	10.8	23.7	28.0	50.1	20.2	1.3	0.8	1.9	0.8
夫婦と親	39	46.2	7.7	28.2	25.6	5.1	25.6	17.9	51.3	30.8	-	5.1	-	5.1
3世代	133	36.1	17.3	25.6	36.1	7.5	26.3	29.3	45.1	18.8	3.0	0.8	-	0.8
一人親と子	66	37.9	10.6	24.2	39.4	9.1	18.2	24.2	54.5	19.7	1.5	3.0	-	-
その他	54	37.0	14.8	29.6	35.2	5.6	24.1	24.1	46.3	16.7	1.9	5.6	3.7	1.9